

〔何故これら3人のアーティストたちなのか?〕

忘却の淵に沈んでしまった作品を復活再評価させるためにはそれが優れた演奏であることが不可欠です。そして何よりも作品への共感度が問われます。私(谷戸基岩)が音楽評論家になってから通った約7,000のコンサートで聴いて、「これは!」と思ったアーティストたちの中からご登場いただきました。

広瀬悦子(ピアノ)



有名無名を問わず、ロマン派作曲家の膨大な数の作品演奏経験とともに、ロマン派ピアノ曲を究めた達人。どんなジャエルを聴かせてくれるのか、想像するだけでワクワクしてくる。

内門卓也(ピアノ)



かれこれ15年以上、コンポーザー・ピアニストとしての活動に接してきて、その繊細な感受性と大胆なアプローチに魅了されてきた。今回のハードな任務も着実にこなしてくれるはず。

鈴木皓矢(チェロ)



有名名曲であれ、知られる作品であれ、鈴木が全力投球で真摯に向き合う姿を何度も目にしてきた。恐らく日本初演となる本作品もきっとありのままに輝かせてくれるに違いない。

(詳細なバイオグラフィは当日のプログラムに掲載)

小林 緑(プレトーク)



30年来女性作曲家の紹介に専心している音楽研究者にしてフェミニスト。

●知られる作品を広める会

音楽の歴史を振り返ってみても、魅力的な作品が忘却の淵に沈んでしまうというケースは多々あります。ましてや今日のような高度情報化社会になればなるほど、却って画一的な価値観が押し付けられ、クラシック音楽が本来持っている多様性が失われがちです。有名作曲家の作品は微に入り細にわたり研究・演奏されるようになる一方、知られる作曲家は無名であるという理由だけで演奏家・聴衆から排除されてしまいます。

「知られる作品を広める会」は有名・無名を問わず、優れた演奏家の方々にご協力いただき、そうした作曲家たちの忘れられてしまった作品の価値をもう一度、実際の演奏を通して判断していただく企画です。皆様の参加を心よりお待ちしています。

知られる作品を広めるコンサート、これまでの演奏会記録

(1) レベッカ・クラークとアンリエット・ルニエ

2002年7月9日、東京文化会館小ホール
出演:川本嘉子(va)、吉野直子(hp)、小山実恵(pf)、有馬理絵(cl)

(2) ギター作品で知られる作曲家たちのピアノ曲と室内楽

(現代ギター社GGサロン)

第1回「アレクサンデル・タンスマン」 2003年1月25日

出演:川畠陽子(pf)、江口心一(vc)

第2回「マリオ・カステルヌオーヴォ=テデスコ」 2003年3月8日

出演:三好優美子(pf)、有馬理絵(cl)

第3回「マヌエル・ボンセとA.タンスマン」 2003年4月26日

出演:小柳美奈子、川畠陽子(pf)、森下幸路(vn)

(3) セイシャス・プロジェクト2004

第1回「カルロス・セイシャス生誕300年記念バースデイ・コンサート」

2004年6月11日、津田ホール

出演:曾根麻矢子(hpsi)、小林久美、安井優子(vn)

川本嘉子(va)、江口心一(vc)

第2回「セイシャス:鍵盤楽器のためのソナタ集、出版記念コンサート」

2004年12月4日、トバンホール

出演:小柳美奈子、三好優美子、谷 真人、岸本雅美、松谷園子

宮理香(pf)、鈴木理恵子(vn)

(4) アントン・アレン斯基没後100年記念コンサート(その命日に)

2006年2月25日、トップンホール

出演:新井博江、川畠陽子、三輪 郁、前田拓郎、松谷園子、宮理香、

高橋多佳子(pf)、横山奈加子(vn)、江口心一(vc)

(5) アガーテ・バッケル=グレンダール

没後100年記念コンサート(その命日に)

2007年6月4日、東京文化会館小ホール

出演:新井博江、三輪 郁(pf)、本島阿佐子(sop)

(6) 女性作曲家音楽祭2007(全12公演)

2007年8月6日~10日、杉並公会堂小ホール

6.7.10日:室内楽・器楽コンサート(1)~(6)

8.9日:ピアノ曲マラソン・コンサート(1)~(6)

(36作曲家、29アーティスト、総演奏時間約22時間)

(7) ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルド記念コンサート(全3回)

●歌うヴァイオリン=ヴィアルド一族の室内楽

2010年5月18日(没後100年の命日)、津田ホール

出演:大谷康子、小林美恵(vn)、百武由紀(va)、苅田雅治(vc)、山田武彦(pf)

●ポリーヌ・ヴィアルド「うた」

2012年3月24日、津田ホール

出演:野々下由香里(sop)、波多野睦美(ms)、

長尾春花(vn)、江口心一(vc)、山田武彦、前田拓郎(pf)

(6) 女性作曲家音楽祭2007

●生誕200年記念コンサート

2021年7月18日 王子ホール

出演:波多野睦美(ms)、山田武彦(p)

(8) アルカン生誕200年記念コンサート

●第1・2回 ピアノ・コンサート「性格的小品の王者」

2013年11月28日、東京文化会館小ホール

出演:岸本雅美、仲道祐子、広瀬悦子、森下 唯、山田武彦(pf)

●第3回 バースデイ・コンサート(室内楽・ピアノ曲)

2013年11月30日、労働福祉会館ホール(杉並区)

出演:瀬崎明日香(vn)、上森祥平(vc)、菊地裕介、島田彩乃、森下 唯(pf)

(9) 平等と自由を求めた女性作曲家たち

~ル・ボーとアンドレーを中心に

2015年1月9日、津田ホール

出演:遠藤加奈子(vn)、江口心一(vc)、宮崎貴子(pf)

(10) アントン・アレンスキ没後110年記念コンサート(その命日に)

2016年2月25日、杉並公会堂小ホール

出演:石岡千弘、上野優子、内門卓也、山本恵利花(pf)

(11) 女性作曲家ピアノ曲マラソン・コンサート

(セシル・シャミナードの誕生日に)(全2公演)

2019年8月8日、杉並公会堂小ホール

[取り上げた作曲家:シャミナード、ビーチ、ジャエル、マイヤー、フランク、アウエルンハマー、L.ブランジェ、バダジスフカ、ル・ボー、バッケル=グレンダール、ガルシア=ヴィアルド、アンドレー、メル・ボニス、メンデルスゾーン=ヘンゼル、モンジュレー、カレニヨ、シマノフスカ]

出演:岸本雅美、五味田恵理子、正住智真子、エミィ姫ショワルツ、西原栄里、

東浦亜希子、弘中佑子、山口裕子(pf)

(12) 風の時代のクラシック音楽

~音楽史を神棚から降ろして(全2公演)

2023年9月20日、杉並公会堂小ホール

[取り上げた作曲家:アルカン、マレ、ロッシーニ、ドゥシェ、ルフェビュール=ヴェリ、他] 岸本雅美、栗田奈々子(pf)、上森祥平(vc)、谷戸亮太(語り)

知られる作品を広めるコンサート(13)

女性作曲家に魅せられて

マリー・ジャエル 没後100年記念コンサート

MARIE JAËLL 100th ANNIVERSARY CONCERT OF HER DEATH

2026年1月24日(土)

24th January 2026

18:00開演(17:00開場)

プレトーク 17:15~17:45

演奏曲目:

12のワルツとフィナーレ op.8(ピアノ連弾)

チェロ・ソナタ

ダンテの「神曲」に基づくピアノ曲集(全18曲)より

「地獄で聴いたもの」より4曲

「煉獄で聴いたもの」より4曲

「天国で聴いたもの」より4曲

会場:Halle Runde(ハレ・ルンデ)

名古屋市昭和区桜山町

¥3,000 (全自由席)

広瀬悦子(ピアノ)

内門卓也(ピアノ)

鈴木皓矢(チェロ)

チケット取り扱い



●チケットぴあ

<https://t.pia.jp/> (Pコード312-403)

セブン-イレブン店頭でも購入可能



●一般財団法人 ルンデ

公演記念特別チケットは
ハレ・ルンデのみでの取り扱い

●知られる作品を広める会(下記)

マリー・ジャエルに魅せられて

19世紀後半のフランスで最も重要なピアニスト・作曲家・教育者の人、マリー・ジャエル。2025年は彼女の没後100年の記念年。とはいえたる命日は2月4日。「女性作曲家に魅せられて」のプロジェクトが正式に決まった1月からでは命日には間に合わず、他の2回のコンサートもあり実現は諦めかけておりました。しかし「レコード芸術ONLINE」でレビュー原稿を書くためにヴィヴィアヌ・ゴエルジャンによる「ダンテの『神曲』に基づくピアノ曲集」を聴いているうちに、私も小林縁もこの凄まじい曲をどうしても広瀬悦子さんの演奏で記念年に聴きたい、と思うようになりました。演奏をご快諾いただけたので、2026年2月4日までは「没後100年+○○○日」という理屈で、1月24日(355日)に設定することが出来ました。フランク、ルニエと同様にジャエルには未出版ながら「チエロ・ソナタ」があり、楽譜も入手。そしてリストとサン=サーンスが嬉々として連弾していたという代表作の「12のワルツとフィナーレ」も取り上げます。偉大な女性作曲家ジャエルの幅広い音楽性を知っていただけたらと思います。

そして会場は私が1990年代後半、その好企画ゆえに東京から何度も通った「スタジオ・ルンデ」の後継ホールとして2022年にオープンした「ハレ・ルンデ」。2023年からもう10回以上通っています。作曲者の生誕200年を記念した金澤撮による「ライネッケのピアノ音楽」(全6回)など、いま必要な、類まれなコンサートを恐れず開催しているからに他なりません。大寒の候ですが、きっとホットで刺激的な一夜となる事でしょう。

知られざる作品を広める会代表 谷戸基岩

プログラム

〔プレトーク〕 17:15～17:45

小林 緑(国立音楽大学名誉教授)「マリー・ジャエル: 彼女の物語 Marie Jaëll: Herstory」

〔演奏曲目〕

12のワルツとフィナーレ op.8(ピアノ連弾)

12 Valses et finale pour piano à quatre mains

広瀬悦子、内門卓也(ピアノ)

チエロ・ソナタ

Sonate pour piano et violoncelle

鈴木皓矢(チエロ)、内門卓也(ピアノ)

～休憩～

ダンテの「神曲」に基づくピアノ曲集(全18曲)より

Pièces pour piano (d'après la lecture de Dante)

「地獄で聴いたもの」より Ce qu'on entend dans l'Enfer (extraits)

第1曲「追跡」、第4曲「炎に囲まれて」、
第5曲「冒険者たち」、第6曲「サバト」

「煉獄で聴いたもの」より Ce qu'on entend dans le Purgatoire (extraits)

第3曲「物憂さ」、第4曲「良心の呵責」、
第5曲「今と昔」、第6曲「強迫観念」

「天国で聴いたもの」より Ce qu'on entend dans le Paradis (extraits)

第1曲「平穏」、第2曲「天上の声」、
第3曲「贊美歌」、第6曲「熟視」

広瀬悦子(ピアノ)

演奏者――

広瀬悦子(ピアノ)

HIROSE Etsuko, piano

内門卓也(ピアノ)

UCHIKADO Takuya, piano

鈴木皓矢(チエロ)

SUZUKI Koya, cello

司会進行: 谷戸基岩

プロジェクト「女性作曲家に魅せられて」とその関連コンサート

新型コロナウイルスのパンデミック以降、海外では凄まじい勢いで様々な女性作曲家の作品を扱ったコンサートが開催され、CDが発売されるようになっています。アリバイ作り的な取り上げ方ではなく、本格的に彼女たちの生涯と活動を検証する方向で運動が進められているのです。

女性作曲家研究者たちの間では「彼女たちの存在とその作品を語らないことは音楽史の半分を語っていないも同然だ!」という風にクラシック音楽界の現状が説明されることがあります。とりわけ19世紀以降のフランス音楽史に関しては正にその通りでしょう。

そして今年2025年はそんなフランスの重要な女性作曲家3人の記念年(アニヴァーサリー・イヤー)に当たります。ルイーズ・ファランク(没後150年)、アンリエット・ルニエ(生誕150年)、マリー・ジャエル(没後100年)。それを記念して「レコード芸術ONLINE」誌上にて「女性作曲家に魅せられて」という連載が開始されました。音楽史の上で重要な女性作曲家たちとその作品、復興運動の歴史を集中的に紹介して行く4年がかりのプロジェクトです。それと連動する形で「知られざる作品を広めるコンサート」も日本各地で実施することになりました。ご期待ください。

――「レコード芸術ONLINE」の連載――

女性作曲家に魅せられて

—その墓標に捧ぐ—

谷戸基岩 & 小林 緑



詳しくは下記のURLを参照ください。

https://recogi.onomo-mag.com/article/le_tombeau_de_la_compositrice/p-17649/



「女性作曲家に魅せられて」関連コンサート

●ルイーズ・ファランク没後150年記念コンサート

2025年9月15日(月、祝)音楽の友ホール(東京)
瀬尾和紀(フルート)、江口心一(チエロ)、栗田奈々子、山田剛史(ピアノ)

●アンリエット・ルニエ生誕150年記念コンサート

2025年11月21日(金)ザ・フェニックスホール(大阪)
福井麻衣(ハープ)、上森祥平(チエロ)、岸本雅美(ピアノ)

●マリー・ジャエル没後100年記念コンサート

2026年1月24日(土)ハレ・ルンデ(名古屋)※本公演

RUNDE

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番
TEL: 052-846-8566

[アクセス]
ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。
名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線
金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。
・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口
・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口
・名古屋市営バス「桜山」
(それぞれ徒歩 10 分程度)